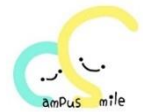


学校に行きたい子どもたちに「安心」をお届けする取り組み

それが、筑紫女学園大学の『キャンパス・スマイル』です



《キャンパス・スマイルの目的》

学校に行きたいけど行けない、あるいは機会があれば学校以外のところでも学習したいと思う子どもたちに対して、安心して過ごせる“居場所”を大学キャンパス内につくり、子どもたちの自信とエネルギーの回復をめざしていきます。

《キャンパス・スマイルとは》

筑紫女学園大学の学生が、子どもたちと一緒に会話や学習、レクリエーションなどの活動を行います。

(1) 活動時間やペース

週に1回、2週間に1回など、子どもの意思を尊重しながら利用するスペースを作っていきます。1回の活動時間は概ね100分ですが、子どもが緊張して疲れてしまう場合は、短時間(30分)から始めることもできます。

◇実施時期:前期 5月中旬から7月中旬 / 後期 10月上旬から1月中旬

◇実施時間:①11時から12時40分 ②13時30分から15時10分

③13時から14時40分

※基本は①②どちらかを選択してください。③を希望の場合はご相談ください。

(2) 活動の相手

子ども一人ひとりに、担当の大学生(スマイルサポーター)が決まります。

スマイルサポーターはプロではありませんが、子どもたちの“伴走者”として一緒に勉強したり、趣味や好きな音楽、アニメの話で盛り上がり、子どもたちにとっては敷居の低いお姉さんの存在です。

※スマイルサポーターには、事前に「スマイルサポーター養成講座」の受講を義務付けます。

(3) 活動の内容

子どもが希望すれば学習支援を行います。ボードゲームやトランプ、手芸、運動など、子どもたちがリラックスできるような活動から始めます。

子どもたちの「これがやりたい!」という提案や意見を積極的に受け入れます。

(4) 活動の場所

大学の小教室(演習室)、図書、体育館、ピアノ教室、食堂など、子どものニーズに合わせて様々な場所で活動します。